

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-179153

(43)公開日 平成7年(1995)7月18日

(51)Int.Cl.⁶
B 6 0 R 11/06
E 0 2 F 9/00
F 1 6 N 3/12

識別記号
7146-3D
Z

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2 FD (全5頁)

(21)出願番号 特願平5-347481

(22)出願日 平成5年(1993)12月22日

(71)出願人 000001236

株式会社小松製作所
東京都港区赤坂二丁目3番6号

(72)発明者 里見 武志

石川県小松市符津町ツ23 株式会社小松製作所粟津工場内

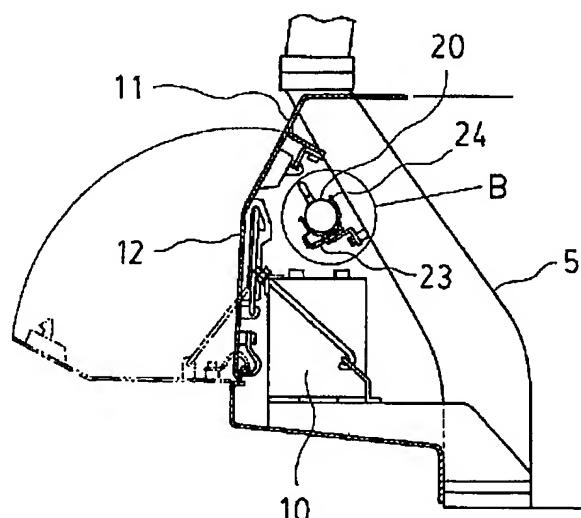
(74)代理人 弁理士 橋爪 良彦

(54)【発明の名称】 グリースガンの格納装置

(57)【要約】

【目的】 ブルドーザのグリースガンを、構造簡単、着脱容易でグリース垂れ落ちの恐れのないよう格納する。

【構成】 オペレータシートの側部に設けられ、バッテリ10を収納したカバー12を有するバッテリボックス11内の、運転席保護ガード用支持ブラケット5に受け皿23とΩばね24とを装着する。グリースガン20をΩばね24にワンタッチで着脱容易に挿持させる。グリースは垂れ落ちても受け皿23で受けけるため安全であり、構造簡単でコストも安い。



ン37により抜け止めされている。

【0011】ロッド34の上端は図8に示すように重力によって矢印Mの方向に倒れている。図7に示すように実線で示す閉状態のカバー12を2点鎖線に示すように開くとロッド34は矢印M方向の溝にそって移動し、中間固定溝33で停止してカバー12は中間のJ位置で止まる。つぎに、カバー12を少し戻し、ロッド34を手で図8に示す矢印N方向に寄せ、カバーをさらに開くとロッド34はスライド溝32に沿って移動し、スライド溝32の最下端で停止し、カバー12は全開のK位置で止まる。したがって、開口範囲を大きくしたカバー12を安全に開閉することができる。

【0012】

【発明の効果】以上説明したごとく、本発明はブルドーザのグリース給脂用グリースガンを容易に着脱可能なΩばねにより成る支持部材をオペレータシートの側部に装着し、グリースガンから垂れ落ちるグリースの受け皿と、グリースガンの前後方向移動と回転とを防止するストッパとを設けたため、グリースガンの着脱がワンタッチで容易に行え、格納場所の温度が低いためグリースが垂れ落ちる恐れは少ない。また、万一グリースが垂れ落ちても安全であり、構造簡単でコストも安いグリースガンの格納装置が得られる。また、上記格納部のカバーは簡単に開閉できるようにするために手前におろすようにしてあり、かつ、一度に開くことのないように中間点で止るようにしたので安全にカバーの開閉ができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のグリースガン格納装置を搭載したブルドーザの後部側面図である。

【図2】本発明のグリースガン格納装置を搭載したブルドーザの後面図である。

【図3】本発明のグリースガン格納装置の側面断面図である。

【図4】グリースガン支持装置の正面図である。

【図5】グリースガン支持装置の側面図である。

【図6】グリースガン前面部の斜視図である。

【図7】グリースガン格納装置のカバーの構成図である。

【図8】カバーを支持するロッドのガイドの詳細図である。

【図9】グリースガン格納装置のカバーの側面図である。

【図10】カバーを支持するロッドの詳細図である。

【符号の説明】

4 オペレータシート

5 支持プラケット

20 11 パッテリボックス

12 カバー

20 グリースガン

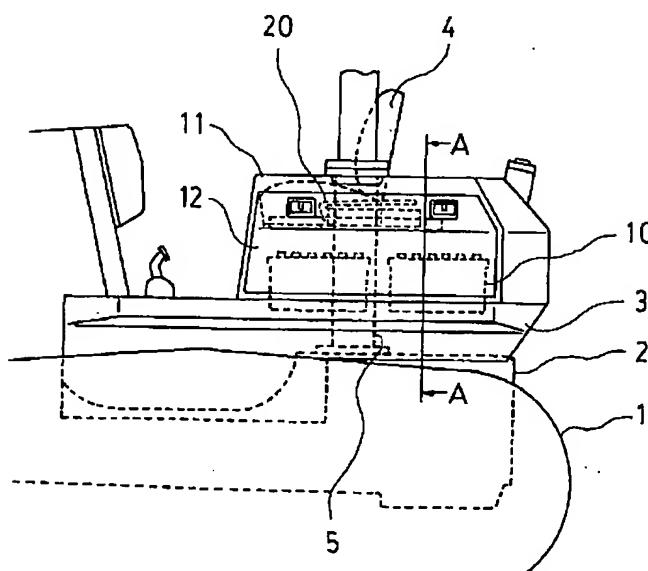
21 プラケット

23 受け皿

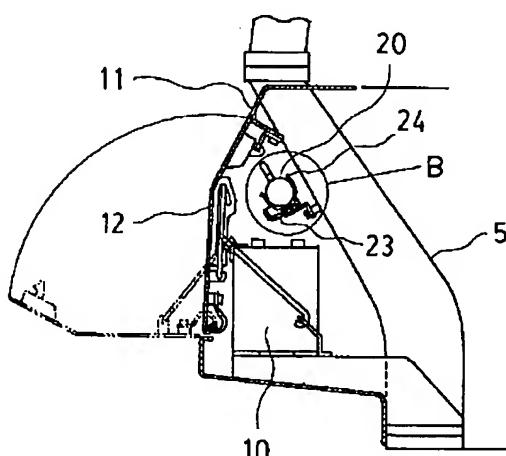
24 Ωばね

26 ストッパ

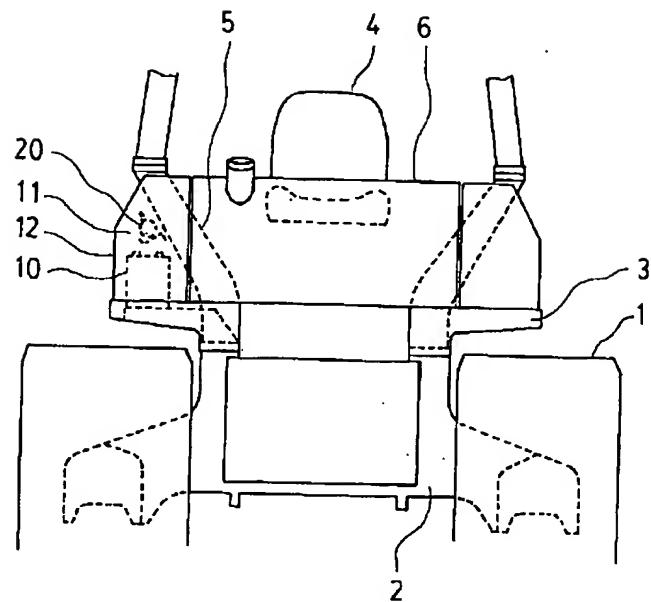
【図1】



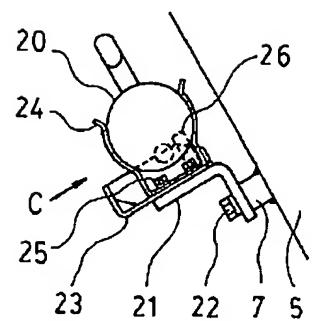
【図3】



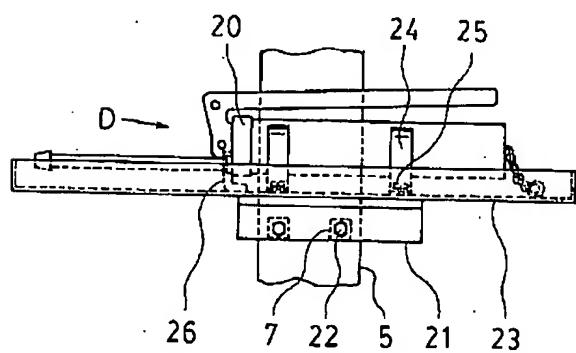
【図2】



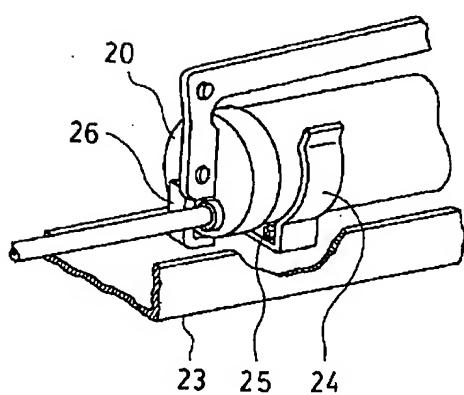
【図4】



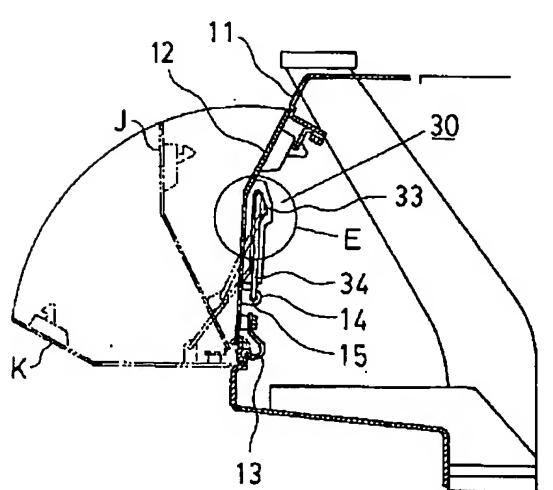
【図5】



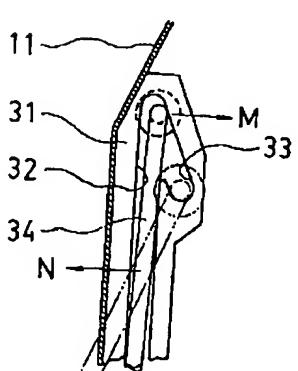
【図6】



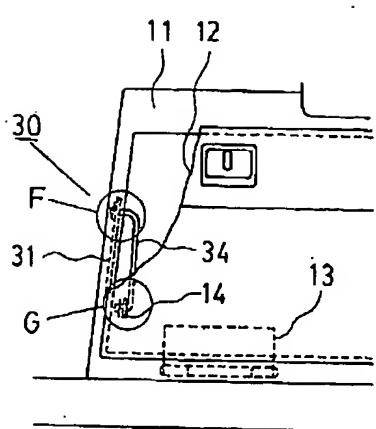
【図7】



【図8】



【図9】



【図10】

